

企業経営の革新を通じた交通インフラの改善

日時：11月12日(火)16:50-18:35(5限)

場所：国際学術総合研究棟4階

SMBC Academia Hall (対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、(株)みちのりホールディングス代表取締役グループCEO 松本順 氏からお話を伺います。

我が国の交通インフラは民間の企業経営によって支えられています。つまり、交通インフラのサステナビリティは、国や自治体との連携に加えて企業のサステナビリティを前提としているということが出来ます。その際、交通インフラ企業には良質なコーポレートガバナンス、適切な運行コストの維持、高度なマーケティング、デジタルトランスフォーメーション(DX)等が求められます。そうした観点から、地域のバス事業経営について事例を挙げながら解説します。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



(株)みちのりホールディングス
代表取締役グループCEO

松本順 氏